

令和6年度 福岡県エネルギー関連施策の概要（新規事業）

柱1 省エネルギーの推進

- 中小企業省エネ製品開発支援事業（12）[予算額：50,737千円（2月補正），商工部]

中小企業が行う省エネ化につながる製品開発を支援

柱2 再生可能エネルギーの普及促進

- 農業水利施設（ダム）の放流水を利用する小水力発電施設の新設（26）

[予算額：53,025千円，農林水産部]

農業用水を供給している合所ダムに小水力発電施設を新設し、再生可能エネルギーの利用推進、および売電収入による農業水利施設の維持管理費負担の軽減を図る（低炭素農業水利システムの構築）。

- 新築県有施設への太陽光発電設備の導入（28）[予算額：3,026,716千円の内数，警察本部]

新築する福岡県警察篠栗合同庁舎への太陽光発電設備の導入

- 共同購入による太陽光発電設備等の導入促進（32）[予算額：6,733千円，環境部]

スケールメリットにより、太陽光発電設備等の購入費用を低減する仕組み(共同購入)を構築し、家庭や企業等における太陽光発電設備等の導入を促進

- 使用済EVバッテリー資源循環モデル構築事業（40）[予算額：14,505千円，環境部]

全国初のEVバッテリーリユース・リサイクルモデルの構築に向けて、官民挙げた研究会を設置し、ビジネスモデルやロードマップを策定

柱3 水素エネルギーの利活用

- ファーストムーバー(先行事業者)を支援する「FC 船運航事業者支援補助金」の創設（47）

[予算額：10,000千円，商工部]

県内の水素需要の拡大やFC 運航船の将来的な県内展開につなげるため、事業の不確実性が高い中、自らリスクを取り、日本初のFC 船運航事業に取り組むファーストムーバーを支援

- FCトラックの既存燃料(軽油)と水素価格の差額補助(48) [予算額: 26,400千円, 商工部]
県内運送事業者等のFCトラック導入を推進するため、FCトラックの商用運行に必要な水素燃料と軽油の差額を支援
- FCトラックに対応した水素ステーションに対する運営費の補助(49)
[予算額: 45,000千円, 商工部]
経営の厳しい水素ステーションの運営費を補助することで、ステーション事業者の負担を低減

柱4 関連産業の育成・集積

- 【再掲】使用済EVバッテリー資源循環モデル構築事業(40) [予算額: 14,505千円, 環境部]
全国初のEVバッテリーリユース・リサイクルモデルの構築に向けて、官民挙げた研究会を設置し、ビジネスモデルやロードマップを策定
- 水素大規模拠点実現可能性調査補助金の創設(59) [予算額: 25,000千円, 商工部]
水素大規模拠点の構築へ向け、実現可能性調査(FS)を実施する水素供給事業者(コンソーシアム)を支援
- ニューサウスウェールズ州(NSW州)とのMOUを踏まえた両地域での「視察交流会」や「展示会出展」の実施(60) [予算額: 4,800千円, 商工部]
 - ・NSW州政府関係者や豪州企業を福岡へ招き、響灘臨海エリアの視察や企業との意見交換等を実施
 - ・「福岡県水素拠点化推進協議会」会員企業を中心とした5社程度が豪州へ出向き、水素関連展示会に共同出展
- 豪州以外のグリーン水素の輸入国の検討に向け、UAEへの県職員派遣(61)
[予算額: 2,556千円, 商工部]
豪州以外のグリーン水素の輸入国の検討に向け、UAEへ県職員を派遣